

通信

夢洲カジノを止める会

2025年1月

平野区連絡会

denyabi@digdig.org



カジノはいらん!

万博もカジノもいらない!

万博やめて!



一緒に活動してくれる仲間を募集中!

「夢洲カジノを止める会・平野区連絡会」は、2022年3月、カジノの是非は府民が決める「住民投票条例」制定を求める直接請求署名のとりくみに賛同した仲間が集まり活動を始めました。署名は必要数を大きく上回り、府全域で約21万筆、平野区では4519筆が集まりました。しかし、同年7月府議会は、住民投票実施の是非についてわずか半日の議論で否決。民意は踏みにじられました。2023年4月には国土交通省観光庁が、大阪府の申請を認可はしましたが、地域住民への対面での能動的な理解促進や双方向の対話の場が必要など7つの条件が付いています。

私たち平野区連絡会は、府内の仲間とも連携し、大阪IR(カジノ)計画について、府民との対話、そして撤回を求め、あきらめずに活動を続けています。また、カジノ建設のための前座のような役割とも言われている大阪・関西万博についても反対、中止を求め街頭宣伝、チラシ配布・ポスティング、署名集めなどの活動をしています。

一緒に活動してくれる仲間を募集中です!

去年はこんな活動をしました!

活動日・人数	場所	活動内容
2024年1/10 成人の日街宣	地下鉄出戸駅前	ビラ配布 ポスティング
2/17	喜連瓜破ライフ前	ビラ配布 署名集め ポスティング 4000枚
4/20	喜連瓜破ライフ前	ビラ配布 ポスティング 2000枚
6/5	喜連瓜破ライフ前	ビラ配布 ポスティング 5120枚 受任者訪問
9/21	喜連瓜破ライフ前	ビラ配布 ポスティング 5000枚

平野区連絡会 2025年も元気に活動開始します!



みんなの税金が、万博に、カジノに
どんだけ投入されていくの!?
みんなの声は「微力でも無力じゃない」
万博・カジノ ホンマに要るん?
と言い続ける活動を今年も!
維新の暴政を許さない!
私たちはあきらめない!

ギャンブル依存症の報道を聞いたときに、カジノは本当にあかんと思う。活動頑張って!とエールを送ってくれた人も…。嬉しかった!



若者に明るい未来を 残したいのに…

みなさんの税金がこんなに使われています。これが身を切る改革？



祝 成人の日 いっしょに考えてみませんか？

万博中止！カジノはいらん！

みんなの命が大切にされる
持続可能な社会を！

20歳になったら、自分たちの税金の
使い道に声をあげましょう！

万博会場建設費だけで

大阪市民の負担は一人1万9千円！

大阪・関西万博についての共同通信の世論調査では約7割が「不要」と回答しており、国会でも中止を求める声があがっています。万博会場建設整備費として投入される公費は2350億円に膨れ上がり、大阪市民一人当たりの負担額19000円、府民は約9450円！ 運営費についても大きな赤字が予想されますが、負担方法はあいまいなままです。昨年12月、万博協会は簡易型パビリオンの用途変更費などに充てるため、130億円の予備費から62億円を支出する方針を公表。物価上昇や現場の人手不足は続いており、公費負担の増加が懸念される今、私たちの負担はどんどん増えていくのでは…!?

夢洲は危険がいっぱい！ 会場内でガス爆発事故も！ 学校から遠足で行って大丈夫？…交野市・熊取町は全校不参加

大阪府は「子どもを学校単位で万博に無料招待する」事業を進めています。原資は税金。府民のお金を使っての観客動員とみることもできます。

市民からは「有害物質の危険性のある万博、救急医療が整っていない万博、避難ルートが2ルートしかない万博に子どもを行かせないで」「引率する教職員もかわいそう」などの声も…。学校現場の教職員の間にも「引率することに不安」の声が広がっています。

昨年3月28日には、工事中に溶接の火花が地中から発生したメタンガスに引火し爆発事故が起きています。今も、パビリオンが建設される工区でメタンガスが相次いで噴出しています。さらに、交通アクセスの脆弱性などもあり、「児童たちの安全が担保できない」と参加を躊躇する学校も多く、5月24日には、交野市の山本景市長が「学校単位で行かなくてもよい」と表明。12月23日には熊取町の8つの小中学校長が、「不明な情報が多く、安全に引率出来ないと判断。学校からは招待事業への参加を見送る」と保護者通知しました。吹田市、池田市の市議会では、招待事業に対し安全対策強化を求める意見書が採択されています。

埋立地 夢洲は軟弱地盤！

地震が起きたら液状化の恐れも…

人工島・夢洲は、1970年代から建設残土、産業廃棄物の埋め立て地で、2011年原発事故の「放射性がれき」も市民の反対を押しきって焼却し、埋め立てられています。当初、2040年頃の埋立て完了後は、重要な大阪の物流拠点となる予定でした。商業地には適さない夢洲、そして莫大な公金を費やしてもなお危険で問題の多い夢洲が、市長の一声で、万博会場やIR（賭博場カジノ収益の80%で成り立つ統合型リゾート）計画になり、事業が押し進められています。多数の市民の反対の声も聞かず…。南港野鳥園とともに生物多様性Aランクに選定される夢洲の自然環境も影響をうけています。

人の不幸で成り立つ“賭博場”カジノはいらない！

カジノはギャンブル依存症という不幸な人を必ず生みだします。その人の負け金を収入に？不幸になる人が前提の政策？なんて…あり得ません。

カジノの誘致は、ギャンブル依存症による家庭崩壊・治安の悪化・地元経済の衰退・際限ない税負担・70年後の子供たちにも借金地獄と良いことは一つも見当たりません。そして、待ったなしの防災、老朽インフラ整備、福祉、医療、教育は、どんどん後回しに…

ラスベガスの例 離婚、失業などで最悪ランク。旅行ガイドには、「メインストリート以外には決して行くな！危険！」と表示されている。

アトランティックシティの例 カジノ承認から30年後も経済、財政とも疲弊したまま。レストランの40%、小売業の1/3が廃業。中小企業が消滅。麻薬中毒は2倍。犯罪増加。「もし現状が当時わかっていたら、カジノを支持しなかった」（議員発言）

夢洲カジノを止める会

平野区連絡会

ピラ配りなど、一緒に活動しませんか？大募集！ 連絡先→ denyabi@digdig.org